



海事デジタルエンジニアリング講座 第2回シンポジウム -MODE2023-

The 2nd MODE (Maritime and Ocean Digital Engineering) Symposium

2023 10.30 **MON** 13:00~17:00 開場 12:30

東京大学 本郷キャンパス 伊藤謝恩ホール

参加費
無料

PROGRAM (今後変更の可能性あります)

開会挨拶 (13:00)

徳永朋祥 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 研究科長

祝辞

田村顕洋 国土交通省 船舶産業課課長

基調講演 1(13:15)

近藤秀一

マツダ株式会社 統合制御システム開発本部 主幹エンジニア

基調講演 2(13:45)

西村秀和

慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授

基調講演 3(14:15)

安藤英幸

株式会社MTI 取締役 船舶物流技術部門 部門長

ポスターセッション(14:45)

活動報告1 MODEの活動概況(15:45)

村山英晶 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 教授

活動報告2 風力推進船のMBSEとMBD(16:05)

藤田泰明

ジャパン マリンユナイテッド株式会社 設計本部 総括スタッフ

Cem Guzelbulut

東京大学 大学院工学系研究科 特任研究員

活動報告3 自動運行船のMBSEとMBD(16:30)

角田領

株式会社MTI 船舶物流技術グループ シミュレーションチーム チーム長

中島拓也 東京大学 大学院新領域創成科学研究科 博士課程

閉会挨拶(16:55)

鈴木英樹 株式会社MTI 代表取締役社長

司会 中内大介 BEMAC株式会社 D&C室 / 東京データラボ 室長

終了後 懇親会

サステナブルな海上物流を実現する シミュレーション共通基盤の構築へ

海事産業の課題に取り組むための有効な手段として期待されるのが、自動車産業で導入が進むモデルベース開発(MBD)とモデルベース・システムズエンジニアリング(MBSE)です。これらを利用することで、複雑な船の設計でも迅速に最適化が図られるだけでなく、荷主・運航者をはじめとする幅広いステークホルダーが参加する協調的な開発プロセス「海事デジタルエンジニアリング」を創り出すことができるようになります。本講座は、海事分野のためのMBDとMBSEについて研究教育する拠点として、次世代のサステナブルな海上物流を構築するためのシミュレーション共通基盤の開発に取り組みます。

お申込みはこちらから

MODE シンポジウム



主催 東京大学大学院新領域創成科学研究科

共催 株式会社MTI JRCS株式会社 ジャパン マリンユナイテッド株式会社 株式会社商船三井 株式会社新来島サノヤス造船

常石造船株式会社 寺崎電気産業株式会社 ダイハツディーゼル株式会社 NAPA Ltd ナブテスコ株式会社 一般財団法人日本海事協会

日本無線株式会社 日本郵船株式会社 BEMAC株式会社 古野電気株式会社 三菱造船株式会社

お問合せ 海事デジタルエンジニアリング講座(MODE)事務局 Email mode@edu.k.u-tokyo.ac.jp



GRADUATE SCHOOL OF
FRONTIER SCIENCES
THE UNIVERSITY OF TOKYO